

＜株式会社エフエム東京 第 520 回放送番組審議会＞

1. 開催年月日：令和 7 年 7 月 1 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 11 階大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（6 名）

ロバート キャンベル委員長	佐々木 俊 尚 委員
松 田 紀 子 委員	山 口 真 由 委員（レポート）
柴 崎 友 香 委員	福 里 真 一 委員

◇欠席委員（0 名）

◇社側出席者（6 名）

唐島 夏生	代表取締役社長執行役員
内藤 博志	取締役執行役員コンテンツ事業局長
宮野 潤一	執行役員編成制作局長
砂井 博文	編成制作局制作部長
蘭 有紀子	編成制作局編成部長
小林 弘幸	編成制作局制作部プロデューサー

◇社側欠席者（0 名）

【事務担当 宮野放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴 （50 分）

SPORTS BEAT supported by TOYOTA

2025 年 6 月 14 日（土） 10:00～10:50 放送

＜議事内容＞

議題 1: 最近の活動について

■ 『NISSAN あ、安部礼司-BEYOND THE AVERAGE-』放送 1000 回達成

TOKYO FM をはじめとする JFN 全国 38 局ネットで放送中の、平均的なサラリーマンの日常を描いた大人気ラジオドラマ『NISSAN あ、安部礼司～BEYOND THE AVERAGE～』（日曜日 17:00～17:55 放送）は、2006 年 4 月の放送開始から今年で 20 年目、2025 年 6 月 8 日（日）の放送回で、放送 1000 回を迎えました。

これを記念して、この日は生放送でお届けしました。リスナーからのメッセージも特別に募集、メッセージテーマは「私と安部礼司」。非常に多くのメッセージが寄せられ、番組内でもリアルタイムで紹介しました。

番組では、1000 回放送を記念して「放送 1000 回記念！安部ファミリーお名前湯呑み」を販売スタート（税込み 2000 円）。10 日間の予約受付期間に、予想を遥かに上回る、7000 個以上の注文を頂きました。さらに、12 月に番組イベントの開催も発表。

放送中は X で「安部礼司」がトレンド入りするなど、大きな盛り上がりとなりました。



◀キャスト陣



限定

◀放送 1000 回記念！安部ファミリーお名前湯呑み

議題 2：番組視聴

【番組名】

『SPORTS BEAT supported by TOYOTA』

2025 年 6 月 14 日（土） 10:00～10:50 放送

【番組概要】

本日ご試聴いただくのは、毎週土曜 10 時から放送中の『SPORTS BEAT supported by TOYOTA』の 6 月 14 日（土）の放送回です。

この番組は、俳優・藤木直人がパーソナリティを務め、アスリートやスポーツに情熱を注ぐ人たちの挑戦にかける思いにインタビューするスポーツドキュメントプログラムです。2014 年の放送スタートから、五輪や国際大会のメダリスト、プロ選手などのトップアスリートから、競技を裏側から支える方たちまで様々な方々に、名試合の裏側や、これまでの競技人生、試合前や自身を鼓舞する際に聴く“チアアップソング”を伺っています。

今回ご試聴頂いた 6 月 14 日の放送回は、甲子園 3 回出場、読売ジャイアンツにドラフト 1 位で入団し活躍した元プロ野球選手で、現在は解説者・野球指導者として活動する元木大介氏がゲストに登場。

番組収録当日（6 月 3 日）、元木氏が TOKYO FM のスタジオに向かう途中に“ミスタープロ野球”こと読売ジャイアンツ終身名誉監督でもある長嶋茂雄氏の訃報が届き、収録内容を急遽変更し、その胸の内や元木氏だから知る長嶋氏のエピソードなどを伺いました。



【委員の意見および社側説明】

（「○」委員意見／「■」社側意見）

○もう少し長嶋監督の話が聴きたかったというのが正直な感想。途中話がそれたり、また、本来のテーマもあり全部その話という訳にはいかないのだろうが、元木氏にしか語れないこともあったと思うので、もう少し長嶋監督の話をしてほしかったと思いながら聴いた。

○野球に全く興味がないので、元木氏と長嶋監督の話がそこまで分からなかったが、元木氏のマネジメント論が大変興味深かった。昔は叱られたらそれを糧に、「何くそ」と歯を食いしばってやっていたが、最近では叱ると近寄ってこない。昭和の根性論を話していて、最近の若者はダメだという話になるのかと思って聴いていたら、全然そうはならず、若者から「YouTube ではこう言ってました」と言われると、「なんで YouTube に聞くんだよ」とは思いながらも「YouTube の言っていることがあっている場合だってあるよね」「正解はない」という風に言っていて、とても柔軟な思考を持っている方に感じられた。怪我についても、昔は隠し通して頑張るということが当たり前にあったけれど、今は隠さないのが当然。故障を考慮してポジションを変えるなどシステムティックな対応をするのが現在の野球であると。この話が、日本の企業におけるマネジメント論にも通ずるところがあるなと興味深く聴いた。いい選手がいい指導者になる訳ではないというのと、最近、マネージャー業がプロ化していて、日本の企業でも外から専門職として管理職を招く場合があるというものの結び付いていて、元木氏の話からマネジメント論など、多くの方にも参考になる話があったと思う。

○藤木直人氏が、役者業でなく、ラジオパーソナリティとして長く話しているのを初めて聴いたが、とても分かり易く、落ち着いた話し方をしていると思った。スポーツをちゃんと勉強していて、理解や愛情をもって話していることが伝わって来た。土曜の朝に落ち着いて聴ける番組だと思う。

○元木氏は同世代で、甲子園のスターだった頃を覚えている。当時は、何でもこなせる卒のない感じが少し嫌味に感じていたが、改めて番組を聴くと、この卒のなさが、的確なコメントや、様々なことに対してフラットな視点で分かり易い話をするのだと好感を持った。長嶋監督のエピソードも、仲人の話から練習の場では厳しかったなど、話の展開も上手いと思った。マネジメント論の話も興味深く、元木氏が選手を引退して以降もコーチや、テレビ出演などで長く活躍している理由が良く分かった。

○野球が好きなのでとても楽しく聴いた。作り込まれた番組などはどうしても聴くことに集中しないと理解できなかつたりするが、この番組はリラックスして聴

くことができた。実際に普段放送も聴いているが、藤木氏の声が心地よく、土曜の朝 10 時の空気感によく合っていると思う。

○歴代の懐かしい選手名がたくさん出てきて、現役として活躍してきた元木氏ならではの視点の話が聴けたのは良かった。それぞれもちろん一流の選手なので技術は高いが、気持ちが一つにならないと優勝できない、「必ずこの監督を胴上げしたい」というような気持ちがないとバラバラになってしまう」みたいな話が非常に興味深かった。そういう想いを持ったチームが、それまでイマイチだったのに急に力を上げてきて最後に勝ちあがる、というシーンもたくさん見てきたので、確かに、と妙に納得してしまった。

○やればやるだけお金がもらえるのは今のうちだけ、という野球選手ならではの現実的な話も元木氏だからできるのだと思う。チームビルディングの話も大変興味深かった。もう少し、ビジネスマンに向けて話を広げても、興味を持って聴く人が増えるだろうと思った。

○元木氏という個人のエピソードを通した長嶋監督の話は、昭和のレジェンドというより一個人の性格が強く伝わって来た。興味深かったのが、昭和と令和の指導理論の交錯。どちらがいい悪いではなく、両者は全く違うものだと感じた。元木氏が現役世代の頃は、元スター選手の監督がたくさんいたが、現在メジャーリーグでは、プロ経験のない企業出身者がかなりの裁量を持っていたりする。スター選手も、時代の期待や人々の夢を全身で背負っていた長嶋氏に比べ、大谷選手が「僕の野球によって結果的に力づけられる人がいれば嬉しいが、誰かを力づけようと思ってプレイすることはない」と言い切っているように個人主義を感じるのもある種の時代性なのかと思う。そういった意味でも元木氏の話は興味深かったが、時代を貫く普遍性にまでさらに話を広げることができたら、より聴きごたえがあったのではと思った。

○知名度のある男性のアシスタントを女性が務めているという構図が気になってしまった。とても古い価値観なのでどこかで見直してほしい。手伝う人として女性がいることが時代に逆行している。アシスタントではなく、パートナーという立場として、藤木氏にできないことをするべきで、肩書、名前、職位ということが内容に関わってくるので、高見氏が自分の役割を縛ってしまっている気がした。

■貴重なご意見をありがとうございました。映像のない中でスポーツを伝えるのはなかなか難しいこと。どう伝えていくかはパーソナリティとスタッフの中で、密にコミュニケーションを図りながら検討している。アシスタント、という名称については、10 年以上前から使用していて、番組を立ち上げた時と現在とで時代も変わりどんどんそぐわなくなっている

＜第 520 回放送番組審議会 議事録＞

のも認識している。番組を長く続けるにあたり、一度持ち帰ってスタッフと今後のことを話し合いたいと思う。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「ドライバーズインフォ」

7月27日(日) 5:55～6:00 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <https://www.tfm.co.jp/>